

平成30年度 大阪府立芦間高等学校 第2回 学校運営協議会

日時 平成30年11月17日(土) 13時15分～17時00分
場所 本校1階 校長室及び体育館、視聴覚教室

構成員 <協議会委員>
笹山 幸子 元府立高等学校長
竹本 剛 P T A会長
藤田 俊和 後援会会長
松本 紀容子 守口市立八雲中学校 校長
宮坂 政宏 週刊教育P R O 編集委員
山崎 裕也 スクール I E (学習塾) エリアマネージャー
<事務局>
東崎 浩 教頭
久森 雅代 事務長
辻 真人 首席 兼 総務文化部長
塩崎 靖子 首席 兼 教務主任
斉藤 衛 生徒指導主事
諸木 忠治 進路指導主事
丸山 清美 保健主事
甲斐 徹 情報部長
小原 浩昭 第1学年主任
角山 愉紀雄 第2学年主任
平尾 映子 第3学年主任
水嶋 育美 支援教育コーディネーター 兼 共生推進委員長
萩原 英治 校長

配付資料 ○平成30年度 第1回学校運営協議会議事録
○平成30年度 学校経営計画及び学校評価〔進捗状況記載〕
○遅刻集計

内 容

- (1) オープンスクール見学
- (2) 校長挨拶
- (3) 報告

[1] 平成30年度学校経営計画の進捗状況について

- (4) 保護者説明会見学
- (5) 協議

[1] 第2回オープンスクールについて

- (委員)生徒のプレゼンテーションが得意でパフォーマンスが高い。特定の生徒ではなく多くの生徒が力を合わせて運営を行うのは教育力の成果だと思う。オープンスクールでは良いところしか言わないが、友人や先生の協力でうまくいくようになったという体験があればもっと引き寄せることができると思う。
- (委員)保護者の話を聞くと、生徒が生き生きしていると言っている。負の面を出したうえで乗り越えさせるといふところがあればいい。
- (委員)いじめがあっても解決した例があれば不安な保護者は参考になるのではないか。また、生徒指導面も保護者は気になると思う。生徒を見ていたらわかると思うが。
- (事務局)直させようとはしているが強い指導ではなく時間をかけて行っている。

[2] 平成30年度学校経営計画の進捗状況について

- (事務局)学校経営推進費でICT化を要望していたが通らなかった。次年度は獲得できるようにしたい。
- (委員)ICT化を進めても使える教員の問題もある。国の施策としては英語とICTが重要視

されている。

(委員) 授業改善に向けて研修会を計画しているが、研修会のようなものでなくても、互いに授業を見合っ、放課後に意見交換をするようなOJTのような研修もある。教員が意見を出しあ、主体的に学べる環境を整えるだけで、研修何回というような目標でなくても、結果的には授業力は向上する。

(事務局) 5月に互見授業週間を作、授業を見てよかつたところを残すという取組を行っている。

(委員) 互見週間の際に、自分が工夫している点を共有すると、見学の目的がわかりやすい。また、自分が苦労していることを公開してアドバイスを求めることも有効だと思う。

(委員) 学校の先生も悩んでいるはず。情報の共有が気軽にできる仕組みが大切だと思う。また、その情報をカテゴリー別に分類するなどの工夫も必要だと思う。

(委員) 先生が主体的に教え合、学び合うことが広まれば、生徒にも良い影響があるのではないか。

(委員) 働き方改革という点について、今までの日本は「一生懸命働く」ということが成果につながっている反面、6割の人がメンタルヘルスの不調につながっている。経済産業省はワークエンゲージメント、活力を持って生き生きと仕事をするることによって成果を上げようとしている。ストレスはあってもそれ以上にやりがいがあればストレスは無くなる。同僚性、みんなが支え合ったりみんなが提案し合うこと、もう一つは職場のソーシャルキャピタルが大事ではないかと思う。PTAのソーシャルキャピタルが高いと学力が高くなるとも言われている。学校の方針が理解され、行事への参加も多く、信頼されるほど学力が高くなる。

(委員) 今日の授業参観の参加数はどうか。

(事務局) 全員で57名、生徒数にして40名くらいの生徒の保護者の参加があつた。昨年より若干多くなっている。

(委員) 体育祭は多くの保護者が来られてる。文化祭も。

(委員) 他校の体育祭ではほとんど保護者が来られないところもある。

(事務局) 子どもが親に授業参観には来ないように言っている家庭もあると聞いている。

(委員) 子どもは案内文を保護者に渡さないのだから知らないこともある。

(委員) 学校と保護者の関係が良いと知らないということも無くなる。

(事務局) 来年度は様々な手段で授業参観をお知らせする必要がある。

(委員) 授業参観以外に見に来ていただく機会を作るのはどうか。論文の発表などはどうか。

(事務局) 案内をしてみてもいいかもしれない。1月の体育館なので寒いかもしれないが。

(委員) 1年生に3年生の発表を見せるということも、伝統を伝えるという意味で、良いのではないか。

(事務局) 1年生の歓迎会で見せるということも検討してみる。

(委員) PTAの活動としても、もっと親が学校へ来るような活動をしてみる。子どもに負けないような活動をしようと思う。

その他、委員の皆様より多くのアドバイスをいただいた。

(6) 校長挨拶

○第3回は2月上旬または中旬を考えている。